

「改訂新版 放射線機器学(Ⅰ)」 第2刷り(正誤表)

頁	行・図	誤	正
4	下1	定数 K はおよそ 10^{-6} (加速電圧の単位がkVのとき)であり、	定数 K はおよそ 10^{-9} であり、
41	下6行目	約 2 800 rpm、	約 2 700 rpm、
	下5行目	約 3 300 rpm、	約 3 200 rpm、
95	図2.121	X線蛍光増倍管	イメージンテンシファイア
150	本文(図6.8)、9 → 6 へ移動	…グリッドである(図6.8)。	…とも呼ばれる(図6.8)。
	図6.8 図説	グリッド	静止グリッド
152	(6)	露出倍数 B	グリッド露出係数 B
153	4	露出倍数	グリッド露出係数
186	下8行目、挿入	高輝度シャウカステンなどが	高輝度シャウカステン、高精細 モニタなどが
187	下3行目、挿入	Rh などのフィルタ物質を	Rh、Ag などの付加フィルタ物質 を
233	4~6行目文章を部分 修正、追加(アンダーラ イン部分)	(正) 正常組織をNMRで区別できることを発表し、1973年にLauterbur が生体の画像化を行っている。1980年代になりMRI装置が医用 画像装置として登場し、	
234	2	横緩和があり、このとき放出さ れるエネルギーを	横緩和がある。このとき横緩和に 起因するエネルギーを
239	2~3行目	また、 y 軸方向の傾斜磁場	G_y は位相エンコード傾斜磁場と 呼ばれる。
240	下14	TR を長くとする必要の…	TR を長くする必要の…
282	索引【く】グリッド密度の 下に挿入	—	グリッド露出計数 152
286	索引【ろ】	露出倍数 152	削除